

審査項目	審査基準	合計配点
1 全体的事項		
業務理解度	・本業務の趣旨について十分に理解し、事業目的に沿った提案がされているか。	5
2 企画提案内容		
(1) 複数自治体による情報システムの共同調達・共同利用に向けた取組支援		
①市町村への調査対応等 (調査・ヒアリング、ツール・システムの選定、スケジュールの設定)	・市町村の状況やニーズを把握するための適切な調査手法になっているか。 ・ツール・システムの選定手法は、市町村の状況やニーズに配慮したものであるか。	55
②検討体制の構築及び検討支援	・検討体制の構築は、市町村職員の負担軽減を考慮したものとなっているか。また、実効性のある体制が構築できる手法となっているか。 ・共同調達・共同利用の検討に向けて、具体的かつ実現可能な提案がされているか。	
③ツール・システムの実証支援	・ツール・システムの実証に当たり、市町村職員の負担軽減を考慮し、かつ、共同調達・共同利用に向けた課題の抽出が可能な支援内容となっているか。	
④共同調達・共同利用に向けた方針策定	・方針策定方法が具体的に示されており、次年度以降の本格始動に足る資料の策定が可能か。	
(2) 自治体D X 全般に関する市町村への相談対応業務		
①相談体制の整備	・市町村からの要望に応じた相談対応を行うための具体的な提案がされているか。	20
②一般的なD X 支援の実施	・効果的な支援を行うための具体的かつ実現可能な提案がされているか。	
3 業務管理体制		
実施体制	・委託業務を遂行するための体制が提案されているか。 ・市町村からの相談に対し、十分対応できる人材が確保されているか。 ※デジタル専門人材、専任スタッフに関しては、具体的な人材を挙げた上で、略歴、経験、専門分野等を簡潔に記載すること。	10
スケジュール	・求めている成果を実現するための適切なスケジュールが示されているか。 ・実現可能なスケジュールとなっているか。	
4 業務遂行能力		
類似業務の受託実績	・国や地方公共団体等における同種業務の実施実績があり、確実に本業務を遂行できるか。	5
5 積算		
積算の経済性	・委託業務に係る経費の積算は経済性を有しているか。 【算出式】 $5 - (5 \times \text{積算額} / \text{予算額}) + 1$ ※小数点以下切捨て	5
1から5の合計		100

【審査方法】

- 審査員は、各審査項目について、5段階評価(基準点: 1～5)を行うこととする。
「審査基準表」のとおり各評価項目の「補正係数」を乗じ、当該項目の評価点とする。
- 全ての審査員の点数を集計し、最高点数の提案をした提案者を受託者に選定する。
- 審査の結果、点数が同点の場合、審査員の協議の上、受託者を選定する。
- 各審査員の点数のいずれかが満点の5割未満となった提案については、受託候補としない。
- 参加者が1者だけの場合、各審査員の点数がいずれも満点の5割以上となったとき、その提案をした参加者を選定する。

【評価基準(5段階)】

- 5 標準より非常に優れた提案
- 4 標準より優れた提案
- 3 標準的な提案
- 2 標準よりやや劣る提案
- 1 標準より劣る提案